

社会福祉法人京都基督教福祉会洛西愛育園
2024 年度事業報告書

1 基本方針について

法人理念に基づき、「発達に制約を持つ子ども達が家庭や地域で健やかに生活するための療育提供と保護者への子育て支援への取り組み」「地域の基幹センターとして児童発達支援センターに求められている専門性を地域に還元していく障がい児相談支援」の充実を図るために5点を重点目標にして取り組んだ。

2 2024 年度の重点目標と取り組みの結果

(1) 基幹センターとしての役割の充実を図る。

- ・京都市の委託事業として京都市と契約を交わし、基幹センターとしての機能の充実を図る為に従来の子育て施設、成人施設への訪問、相談と共に「京都市発達支援アドバイザー」として研修を重ね、児童発達支援事業所及び放課後等デイサービスへの訪問支援を開始した（以下「訪問支援事業」という）訪問支援事業に関しては、事業開始の初年度という事もあり今後実施、検討しブラッシュアップしていく必要がある。
- ・訪問できる職員体制の構築としては、「訪問支援アドバイザー」「子育て施設等へのサポート」「保育所等訪問支援事業」「きいてきいて（はぐくみ室洛西支所との連携事業）」など、各々の事業に関して職員を派遣した。今年度の体制として、産休、育休の職員が複数人いたために、担任を持ちながら外部にも赴くという体制になった。そのため事業の拡大までは至らなかったが、新規事業に対しての体制作りはできた。
- ・障がい児相談支援としての保育所等訪問支援事業に関しては、7月より1ケース、3月より1ケース行っている。7月からのケースに関しては就学を迎えたため終結。計画相談に関しては、従来は保育所等訪問支援事業を利用する児童に対しての利用計画書の作成を行っていたが、今年度は在籍児童に対しての計画相談を行った。「要保護児童対策協議会」（以下「要対協」と書く）の対象の児童に対して、卒園後も積極的なフォローが出来るように放課後等デイサービスへの利用計画書の作成を行い、関係者会議を開催した。

(2) 地域資源として園の機能の活用

- ・地域の気掛かりを感じる子どもへの相談会として「あそびのひろば」を年間8回開催した。
- ・発達障がい児のグループセッションを年間9回開催した。
- ・西京、洛西のはぐくみ室との連携「きいてきいて」への参加
- ・西京区子育て支援ネットワーク連絡会の事業への参加
- ・京都市西部自立支援協議会の児童部会運営会議への参加

(3) 人材育成、療育の質の向上

- ・法定研修だけでなく、今後の療育の方向性や具体的な支援につながる研修を計画し、実行した。
- ・職員の意向や経験による求められる知識、技術に併せて職員個人のスキルアップにどまらず、今後の園の療育体制を見据えながら研修の機会を作ってきた。
- ・人事考課の面談を通して、職員の目標を明確にすると共に今後に向けて期待する事などを共通認識しモチベーションアップを図った。

(4) 業務内容の効率化、労働時間削減に向けた体制の構築

- ・昨年度に引き続きシルバー人材センターより、療育後の掃除に人材を派遣を依頼する事で、療育後の業務時間を確保した。
- ・パート職員に関しては確保には至らず現状維持。柔軟性のある人材確保は継続的な課題である。

(5) 創立50周年に向けてプロジェクトの始動

- ・プロジェクトを3つの部門で設置し、年間で会議日を計画し、各部門で大枠の方向性を話し合ってきた。

3 職員配置状況

	管理者	児発管	主任	保育士	児童指導員	言語聴覚士	作業療法士
常勤	1	1	1	8	5	2	2
非常勤				1			
合計 (常勤換算)	1	1	1	9 (7.8)	5 (4.5)	2	2
	書記	相談支援専門員	訪問支援員	栄養士	調理員	嘱託医	
常勤	1	1	1				
非常勤				1	1	1	
合計 (常勤換算)	1	1 (0.5)	1 (0.5)	1 (0.5)	2 (1)	1 (0.1)	

※言語聴覚士1名作業療法士2名は産休、育休

4 サービス利用実績

<児童発達支援> (定員40名 出席率109% 現員50名 出席率87%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日	19	21	20	22	19	20	22	20	21	22	19	18	243
利用人数	828	892	926	1008	847	846	1016	886	937	844	804	794	10628

<保育所等訪問支援> 6月より支援開始 利用数：1名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問回数	0	0	1	2	2	2	2	2	1	1	2	2	17
利用人数	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9

<京都市地域障がい児支援体制強化事業>

	子育て施設等	個人(保護者等)・相談会
訪問	56事業所	15件
来所	3事業所	16件
電話	2事業所	19件

<あそびの広場>

		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用人数	幼児	4	4	7	4	4	1	5	5	5	6	36
	学童	6	7	2	5	5	4	10	4	4	6	38
	合計	10	11	9	9	9	5	15	9	9	12	74

<発達障がい児グループセッション> ソーシャルスキルと感覚運動の向上を目指すプログラム

※①小学校低学年グループ：10名 ②小学校高学年～中学生対象の2グループ：4名

③②グループの保護者のみ：2名

		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	3月	合計
利用人数	①	8	10	6	8	7	7	10	7	7	70
	②	1	4	2	2	4	1	4	3	3	24
	③	1	1	0	1	0	1	2	0	1	7

<実習生の受け入れ>

社会福祉：2名 保育：4名 介護等実習（教育）：5名 看護：9名

5 実施した内容

防災 避難訓練	火災想定訓練：2回・DCひまわり合同訓練（西京消防署立ち合い）：1回 地震想定避難訓練：8回・土砂災害想定訓練：1回・消火訓練：1回 普通救急救命講習（西京消防署）6月
設備点検	消防用設備点検（4月17日）貯水槽点検（7月31日）
会議 委員会	職員会議 情報共有・検討：月1回 職員全員 調整会議 各グループ取り組みの情報共有：月1回 副園長 療育職員 給食会議 給食の状況を共有し給食の献立、食材を検討：月1回 主任・療育職員・給食担当職員 リスクマネジメント委員会（虐待防止、身体拘束防止委員会） 防災、防犯、事故等の対応策：月1回 園長・副園長・療育職員 広報委員会 園だより、パンフレット作成、ホームページの管理：随時 療育職員 サポーターズ（後援会） 後援会の事務的な運営：月1回 主任・療育職員
内部研修	4月：身体拘束適正化研修（動画研修） 5月：感染症予防研修「園の感染症の予防について」講習とロールプレイ（NS 小山） 7月：各グループケースカンファレンス・からだについて（OT 高木玉紀氏） 新版K式発達検査 2020 から見る子どもの発達について（副園長） 8月：児童発達支援センターの機能について（副園長）・各グループ療育の中間報告 10月：研修報告 全国児童発達支援協議会（CDS-Japan）全国職員研修（副園長） インクルーシブ教育について（同志社大学 鈴木良氏） 11月：BCPシュミレーション研修・虐待防止について研修（園長） 12月：キリスト教福祉について（空の鳥幼児園園長 平田義氏） 各グループケースカンファレンス 2月：防災研修（西京消防署）研修報告会 3月：各グループ療育のまとめ報告会
外部研修	6～11月：超入門「自閉症支援講座」 6月10月2月：自立支援協議会児童部会定例会 6月：全国児童発達支援協議会 第14回全国職員研修 7月：てんかん基礎講座・サービス管理責任者更新研修 8月：強度行動障害支援者養成研修・サービス管理責任者基礎研修 相談支援専門員スキルアップ研修・相談支援従事者初任者研修 10月：サービス管理責任者等実践研修 11月 京都府障がい福祉従事者専門研修 1月：全国児童発達支援協議会 近畿ブロック研修 2月：京都府社会福祉協議会 障がい児童分野研修 3月：児童福祉施設給食担当者連絡会
行事	4月：入園式 5月：親子遠足・グループ懇談会 5月～6月：家庭訪問 6月：おやじの会（プール準備・懇談） 7月：グループ懇談 7月～8月：グループ別ファミリーデー 9月：おやじの会（プール片付け・懇談） 9月：お泊り療育（年長児）10月：グループ遠足 11月：親子まつり（保護者会共催） 12月：グループ懇談会・クリスマス会 1月～2月：グループ別ファミリーデー 2月：卒園記念写真撮影 3月：グループ懇談会・卒園式（年長児）

6 施設整備等

- ・原付バイク購入
- ・玄関、外壁の蜘蛛の巣除去、窓清掃
- ・送迎車用無線の導入
- ・通園バス購入
- ・園庭砂場用遮熱テント購入